

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 豊山町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価						今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標	現状維持
巡回・窓口相談指導事業	小規模零細企業を中心に、経営指導員等が事業所へ訪問し経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図る。また、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 243件 (経営指導員2×100件) (うち非会員1件) ・巡回窓口指導延件数 618件 (経営指導員2×250件) ・課題解決提案件数 24件 (経営指導員2×10件) ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 123.6%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 120.0%)	小規模事業者の相談相手として、企業の体質改善支援及び各種施策普及を図ることが出来た。		総合評価	A	実施評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり			
記帳継続指導	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と、決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の目録化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	・指導対象者数 72件 ・指導延日数 380日 ・指導延回数 783回	豊山町内個人事業主	指標	記帳指導事業所数 (達成度 97.3%)	指標	(達成度 %)	本年も記帳継続指導を通して、正しい税務知識を修得してもらったとともに、税務相談を通して昨今の経済情勢における企業の納税意識の向上も図ることができた。		総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり			
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	集団 4回 73企業 78人 個別 10回 69企業 69人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 86.5%)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の経営上必要な知識の習得、資質の向上に資することが出来た。		総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	税務申告時PCにより自主記載、国税庁ホームページを利用した申告書作成が普及傾向にあるので、手書きによる作成者が減少している。		
若手後継者育成事業	商工業者の後継者である青年・若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	青年部 支部青年部セミナー 2人 女性部 H30.1.23みつけるセミナー参加者10人 H30.2.13つたえるセミナー参加者13人	青年部員及びそのOB	指標	勉強会・講習会参加者数 (達成度 125.0%)	指標	(達成度 %)	青年部においては、支部青年部セミナーに参加し、部員の資質向上ができた。女性部においては、自社の強みをもつて、つたえるテーマに講習会を開催し、会員事業所に参加を呼びかけ、初めて講習会に参加する事業所もあった。すぐに活用できる内容が多く、満足度も高かった。		総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり			
地域産業祭事業	豊山町住民に地域産業を紹介するとともに、ふれあいの場を設けて商工会活動への理解を深め、もって産業の発展と振興に寄与することを目的とする。	H29.10 社会教育センターで開催 出店者数 28店	豊山住民	指標	出店事業者数 (達成度 93.3%)	指標	(達成度 %)	地域住民に地域産業に対する認識が高まり、商工会活動にも理解が深まった。また、地域産業の発展と振興に寄与することが出来た。		総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	地域に根付いた行事であり、町民の支持を得ている。		
地域まつり	各種お祭・神事等に協賛することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業や商工会PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	朝市7回+桜まつり1回 出店店舗数63店舗 平均8店舗 協力者数 H29.7.17 輪ぐり 14人 H29.7.22 町夏まつり 39人	豊山住民	指標	朝市平均出店事業者数 (達成度 72.7%)	指標	協賛事業協力者数 (達成度 88.3%)	各事業を通して地域の産業や商工会のPR等を図るとともに、会員企業相互の交流や、会員企業と消費者である町民との交流を図ることができた。		総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 ①変更する②現行どおり	朝市については現在のイベント広場で行うのはマンネリ化し、容も固定化してきているので、来年度は町内の他のイベントの際のみに開催する。また、住民が各店舗に訪れる機会を増やすため、新しいイベントを開催予定。		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の継続的な安定を図るために、各種共済制度を普及し企業の健全な育成に資することを目的とする。	小規模企業共済 87件 倒産防止共済制度 7件 中小企業共済 91口 特定退職金共済 128口 PL保険 3口	中小・小規模事業者	指標	各種共済加入口数 (達成度 83.2%)	指標	(達成度 %)	各共済とも、全会員宛送付文書のある際にパンフレットを同封したり、会議や講習会の際に説明をするなどして周知することが出来た。		総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	各種共済内容を職員で再確認し、会員相談の際に、各事業所に適した共済を提案できるようにしたい。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 豊山町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価						今後の展開・改善点等				
				指標	数値	実績数値	指標	数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標	実施方法		
健康普及事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする	H29.9.15 豊山町社会教育センターで実施	会員事業主及び従業員	指標	参加人数 (達成度 93.2%)	190	177	指標	(達成度 %)	中小企業及び小規模企業等の従業員の健康状態をチェックしてもらうことにより、企業の福利厚生充実に繋げる事が出来た。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標	現状維持	実施方法	現行どおり	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	事業所数 65企業 従業員数 118人	中小商工業者	指標	委託事業者数 (達成度 108.3%)	60	65	指標	(達成度 %)	労働保険加入による、従業員雇用安定を充実させることが出来た。 また、事業主の事務負担を軽減し労働保険の適用促進を図ることが出来た。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標	現状維持	実施方法	現行どおり	労働保険の加入の必要性をPRし、従業員の福利厚生の充実を図っていく。
税務関係団体指導事業	法人会の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、商工業の活性化に資することを目的とする。	H29.5 通常総会 H29.10 PR活動 H29.11 視察研修会 H29.12 講習会 H30.1 新春研修会・質問交換会	豊山町内法人企業	指標	会員数 (達成度 91.9%)	185	170	指標	(達成度 %)	今年度の講習会は平成29年12月明治時代創業の企業の代表を講師に招き、老舗企業としての取り組みや新たな商品開発、他社との差別化や取引先及び顧客ニーズのとらえ方の手法を学んだ。平成30年1月には女性講師を講師として招き、人との出会いの大切さやコミュニケーション術を学んだ。また、視察研修として高浜市の工場を見学した。また、会員企業間の事業活動拡大の機会として質問交換会を開催した。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標	現状維持	実施方法	現行どおり	主に建設業で法人化する事業所がある為法人組織としての知識UPに努める。
商店街振興事業	豊山町の消費者等への交通や防犯の安全及び美化を目的として、設置している街路灯の維持管理をする。	灯具をLED化することで夜間も安心して買い物出来る環境を構築し、個店の売上増に貢献した。	街路灯設置小規模事業者	指標	街路灯設置数 (達成度 100.0%)	82	82	指標	(達成度 %)	街路灯を設置することにより町内の防犯に貢献することが出来た。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標	現状維持	実施方法	現行どおり	29年度西警察署(豊山管内)犯罪件数が減少傾向にあり、防犯に貢献し、更に商店への集客に寄与させる。
青年部・女性部事業	会議・行事・事業での青年部・女性部員間の交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部 会議 7回 21人 交流行事 1回 3人 各種主催・協賛事業 5回 17人 青年部 合計13回41人 平均3人 女性部 会議 5回 47人 交流事業 3回 34人 主催・協賛事業4回46人 女性部 合計12回127人 平均10人	青年部員 女性部員 及びそのOB	指標	青年部事業への平均参加人数 (達成度 42.9%)	7	3	指標	女性部事業への平均参加人数 (達成度 100.0%)	青年部においては、積極的に会議・事業に参加し、地域の活性化に大いに貢献したが、後継者不足等による部員数減少のため、参加人数の実績数値は目標を達成できなかった。女性部については、会議・事業を通じ部員間の情報交流を深め、青年部同様地域の活性化に貢献した。また部員以外も参加しやすいよう、これまでの事業の進め方を変更したり、新規事業も開催し、女性部のPRも出来た。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標	①上げる②下げる	実施方法	現行どおり	特に青年部において部員の減少が著しいので、青年部OBや役員にも青年部員増強について協力を仰いでいるが思うように進んでいない。部員数に合わせた、引き継ぎ部員増強に向けて努力する。また女性部については高齢者が進んでいるので若い世代の加入を増やしたい。
部会・委員会事業	各種事業・行事・会議において商業・工業部会との交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。また、その目的のために委員会を開催する。	商業部 会議 2回 総会1回 26人 事業 3回 桜まつり 9人 輪くぐり 9人 環境美化事業 15人 工業部 会議 3回 総会1回 18人 幹事会2回 12人 事業 3回 視察研修 10人 産業まつり 8人 桜まつり 7人 合計 15回 114人 平均8人	小規模事業者	指標	各種事業への平均参加人数 (達成度 100.0%)	8	8	指標	(達成度 %)	会員・部員相互の親睦が深まり、重要な情報交換の機会が得られた。また、各事業に協賛することにより、イベントの集客に寄与することが出来た。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標	現状維持	実施方法	現行どおり	各部会の役員も後継者不足により、高齢化が進んでいるので、若い世代の役員を増やしたい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。